

Q27a

## A new extended X-ray source detected in ASCA Plane Survey

坂野正明、小山勝二、前田良知 (京大物理)、山内茂雄 (岩手大)、ASCA 銀河面サーベイチーム

1996年3月から4月にかけて行なわれた ASCA 銀河面 X 線サーベイの結果、我々サーベイチームは、多くの興味深い new X-ray sources を発見した。

本発表では、中でも、(18h16m30s, -16d35m) 付近に 10' 以上に亘って広がった放射を持つ X 線源 AXJ 181630-1635 について述べる。この X 線源は、ROSAT bright source catalogue には、一応、RXS J181623.1-163534 としてカタログされているが、広がりなどの詳しいデータは不明である。Green SNR カタログにも記載はなく、IRAS カタログでは、対応する位置にある天体は、どれも素性は分かっていない。したがって、正体については、現在まで全く不明である。

当観測においては、近くの LMXB GX13+1 の迷光が強く、解析は容易ではないが、我々は独自の方法でその迷光の寄与を見積もり、当ソースからのスペクトルを抽出することに成功した。統計の問題はあるが、輝線らしきものが見られた。そこで、thin thermal plasma model で fit したところ、温度  $kT \sim 0.8keV$ 、吸収  $N_H \sim 1 \times 10^{22} H/cm^2$  という値を得た。

この弱い吸収から、foreground の系内天体であると考えられる。大きく広がった高温プラズマであることから、new SNR だろうか? イメージ、スペクトルの両面から、この新ソースの正体に迫る。